

船地区の道路整備や、海海水浴場周辺のマリンスピヤの拠点とするISSOCのプロジェクトなどで地元自治会が署名各々の声を添えて市に再稼働を提出したことにについて、「事業すべてが地元の問題・不信の要因となっている。市として説明責任を果たすべきだ」と提言。また磯ノ浦海水浴場の「監視塔」がシロアリにやられ建て替えに市が補助

金を出した運物業者は、臨時に議会で説明のなかった

「奥菜店」になっている経緯を質した。

交通不便、買い物弱者支援を

2月9日(木)日本共産党の南畑たけ子代議員は、交通不便地域の高齢化が進んでいることを指摘し、買い物弱者への支援策と交通不便地域の解消策を求めました。尾花市長は「デマンド乗り合いタクシーについても検討し、既存の鉄道や路

線バスを住かし、将来的には市全体の公共交通ネットワークを構築したい」と答弁しました。南畑議員は、山口地区滝畑に産廃処分場を計画する事業者が説明会開催で住民に不信を与えている問題について質問しました。

ごんごんちは



日本共産党

高浜原発再稼働ストップ

多くの反対を押し切り再稼働した高浜原発4号機、再稼働の3日後に原子炉の緊急停止というトラブルが起りました。そのすべ前にも放射能を

含んだ冷却水漏れを起したばかり。このことを受け、3月7日、近畿の参議院予定候補者として関電本店に行き、重大事故への抗議と原因究明、原発再稼働・運転中止を求める要請書を提出しました。怒りを持って抗議したその2日後に、大津地裁が高浜原発3・4号機の運転差し止めを求め、住民の申し立てを認めた

という知らせを聞いたときは胸があたりました。運転中の原発への停止命令は初めてのことで、この画期的な判決を力に、全国「原発ゼロ」の実現に向け力いっぱいがんばりたいと思います。



坂口 美子 (参院選 尾花区)

潮流

卒業式の時期です。このころでの成長を喜びながら、おが子の(16)背中を見つめる親。

別れの悲しみ、旅立ちへの希望や不安を抱えながら、前を向く子。ともに悲喜こもごも思いがめぐります。▼もし、この場にもどる姿はなく、親だけが参列したら...。誤った進路指導で3年の男子生徒が自殺した広島県の中学校。そこで卒業式があり、見守る子を七

人との面談は、いずれも廊下で短い時間の立ち話。これでは話したいことも言えなかったのでしょうか。実際、本人は「どうせ言っても先生は聞いてくれない」と親に話していました▼先生と生徒の信頼関係、先生同士の連携、進路指導のあり方。背景から見えてくるものは多い。さらに厳罰主義、行き過ぎた管理や競争、教職員の長時間過密労働という、日本の教育のひずりも深くかかっています▼主人のいない卒業証書の授与、亡き生徒の名前が読み上げられると、同じクラス全員で「はい」と答えたそうです。門出の春の前に、みみから涙を流さなくてはならなかった15歳の音楽。教育とはどうあるべきか、すべての関係者に問いたたせています。

くした両親も出席し、同級生の友人が遺影を抱えて、式典に臨みました▼この生徒は昨年11月、一年のときに万引きをしたという誤認記録を担任から持ち出され、志願校には推薦できなかったといわれました。名前を間違えて記載されたまま保存されていたこともあまりにも不手際ですが、なぜ、その水を十分確認しなかったのか▼学校の調査によると、本

赤旗 日刊紙 3497 日曜版 9233 冊